



市長 西村和乎

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、平成 29 年の新春を清々しくお迎えのことと存じます。

今年、加西市は市制施行から 50 周年を迎えます。昨年は、旧鷯野飛行場跡地を国から払い下げを受け、また、以前から要望が寄せられていたホテル施設も市の中心部に誘致することができました。昭和 42 年、旧北条町、加西町、泉町が合併した時、新しく市民となった人々は期待と希望に胸を膨らませていたことでしょうか。あれから 50 年、当時の人々は今の加西市を見て、思い描いていた地域に、社会になっていると言っていただけなのでしょうか。そんな期待や希望を現代社会に実現すべく、今年は、大きく 3 つの施策に注目して、事業を進めてまいります。

一点目は、北条旧市街地の活性化です。現在、「元気なまち再生プロジェクト」として、地域の町並みや地形、歴史・文化を生かしたまちづくりの検討を進めています。

二点目は、歴史遺産の多様な活用です。特に、旧鷯野飛行場周辺は、奇跡的に残された滑走路、周辺の戦争遺跡群は 70 年の時を経て、新たな価値を帯びています。また、国道 372 号のバイパス化は、人・モノの移動の円滑化を促進し、市内に多くの交流人口の流れをもたらすことでしょうか。

三点目は、産業団地の創出です。中国自動車道加西インターチェンジ周辺を加西の玄関口として、利便性を生かした商工業・農業等、次代を見据えた土地の利活用は、地域を大きく発展させてくれると確信します。



今もそのまま残る鷯野飛行場跡地の滑走路

素晴らしい”ふるさと加西”。このまちで、市民が健幸に暮らせるよう、確かな道を市民の皆さまとともに、未来に向かって歩んでまいりたいと思います。

結びに、市政へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



議長 三宅利弘

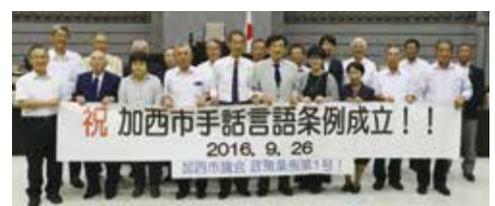
新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、つつがなく新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より市議会の運営並びに活動に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

国の地方創生が叫ばれる中、全国の自治体が様々な施策に取り組んでいます。本市でも人口増加に向けた独創的な子育て支援施策などを行っており、特に昨年からは始まった鷯野飛行場跡地整備や宿泊施設誘致などは、地域活性化への起爆剤になるものと期待しております。かつての活気と賑わいを取り戻すべく、議会と行政は車の両輪として、議論を尽くしながら、誰もが住みたくなるまちを共につくってまいります。

昨年の 9 月議会では、加西市手話言語条例を全会一致で可決しました。念願であった議会から提案する初めての政策条例で、議員全員で構成する政策検討会を立ち上げ議論を重ねて作りあげたものです。今後も議会の果たすべき役割である行政への監視機能とともに、政策立案機能を存分に発揮することで市民の声を市政に反映できるように努めていきます。

また、各地の地方議会で政務活動費の不適切な使用が問題となっています。加西市議会では平成 22 年に領収書を含む収支報告書を閲覧できるようにし、昨年 4 月からは県下市議会でも 2 番目となるインターネットでの公開も行い、説明責任を果たすことに努めています。これからも議会基本条例に基づき、情報の公開、住民参加、議会活動の活性化などを推進し、信頼される議会を目指して引き続き議会改革に取り組んでいきます。

市制 50 周年を迎える新しいこの一年が、加西市にとって地域再生への飛躍の年となり、市民の皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますよう、ご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



議会から提案する初めての政策条例が成立



教育長 高橋晴彦

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素より、教育行政の充実に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、第2期「加西市教育振興基本計画」及び新しい教育委員会制度のもと、総合教育会議で策定されました「加西市教育大綱」により、教育施策を推進しております。

自己責任、自己決定できる人づくりをめざし、基本理念に「自立」といった目標を加え、「新しい時代を切り拓くところ豊かで自立した人づくり」の実現に向け、学校・家庭・地域社会が一体となり、市民の皆さまがかかわる質の高い教育を推進しているところであります。

学校教育におきましては、全学校へ学習支援システムを導入し、電子黒板、タブレット端末等を駆使したICT（情報通信技術）教育の推進を図るとともに、学校図書館の充実による読書活動の推進、国際交流、ALTの充実等による国際理解教育の推進を図り、学力向上に努めています。

教育施設整備におきましては、最重要課題でありました小中学校の耐震化が昨年完了しました。今後は、生きる力の基礎を培い、健やかな成長を支える子育て環境づくりとしてこども園の整備を図ってまいります。本年度は、加西こども園に続き、（仮称）北条西こども園の整備を進めてまいります。

さらに、関係機関や地域住民の皆さまのご支援を賜り、地域をパートナーとして、加西の子どもたちと一緒に育ててまいりたいと願っております。生涯を通じた学びの充実、多様な学習機会及び学習情報の提供、公民館活動の充実を行い、教育をめぐる様々な局面での連携を積極的に支援し、拡大していきます。

今年も多様な教育施策を展開しますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



学習支援システムを用いた授業の風景

北条町栗田に和風デザインのホテルを建設

問合せ／産業振興課 ☎42-8740 FAX43-1802
sangyo@city.kasai.lg.jp



「ホテルルートイン加西・北条の宿」の完成予想図

旧市営駐車場（北条町栗田）に建設予定のビジネスホテル「ホテルルートイン加西・北条の宿」の安全祈願祭が平成28年12月5日に開催され、加西市の西村和平市長やルートイングループの永山勝利会長兼CEOら関係者約30人が参加し、工事の無事を祈りました。

ホテルの外観は、町並みに配慮し、黒壁を基調にした和風デザイン、建物の上部には、宿場町として栄えた「北条の宿」と表示する予定。ホテルは平成30年3月までに開業する予定です。

■整備事業者／ルートインジャパン株式会社

■事業地／北条町栗田の旧市営駐車場と倉庫の敷地内

■建築内容／ビジネスホテル、鉄筋コンクリート造9階建・152室

1階：レストラン、大浴場、フロント、ロビー 2～9階：シングル80室、ダブル24室、ツイン48室

※和風建築などの影響により、当初計画の客室数から変更になっています。